

【目的】
 ○ 大学や福祉・医療等関係機関と連携し、教員養成段階から初任段階までを見据えた支援体制を構築することにより、発達障害の可能性のある児童生徒に対する、通常の学級や通級による指導等における、経験の浅い教員の専門性の向上を図り、可能な限り発達障害のある児童生徒と発達障がいのない児童生徒がともに教育を受けられるインクルーシブ教育システムの構築を目指す。

【事業内容】
 ① 教員の専門性向上のための研修等の機会の充実
 【運営協議会（特別支援教育ファーストステッププログラム（以下「特別支援教育FSP」という。）検討協議会）の開催】
 ② 経験の浅い教員への指導・助言などのサポート体制の構築
 【地域サポートセミナーの開催】
 ③ 現状に即した教員養成課程における教授法の検討

【現状】
 ・通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合が上昇
 (H25:2.2%→R2:4.3%)
 ・通級による指導を受けている児童生徒の増加
 (R2:6257名:10年前と比較し約2.5倍)

【本事業実施に係る効果】
 ○ 教員育成指標で育成を目指す資質・能力の効果的な育成
 ○ 特別支援教育FSPを活用した、計画的・継続的な支援体制の充実
 ○ リーダー的教員の育成及びリーダー的教員による経験の浅い教員に対するサポート体制の構築
 ○ 教員養成大学における特別支援教育に係るカリキュラムの充実

【成果の普及】
 ○ 地域サポートセミナーの開催
 ○ Webページを活用した、特別支援教育FSPの公開
 ○ 教員養成カリキュラムの充実による、特別支援教育に関する専門性の高い教員の養成

